

2020年5月29日

持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則

署名金融機関等各位

21世紀金融行動原則事務局

21世紀金融行動原則
2020年度第1回運営委員会（書面・メールベース）の結果報告

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
標題に関しまして、下記の通りご報告申し上げます。

記

<開催期間>

意見交換2020年5月18日（月）～5月25日（月）

意見取りまとめ 2020年5月26日（火）

<開催方法>

書面およびメール上での意見交換

<参加機関>※書面共有、メール上での意見交換に参加

運営委員機関（機関名50音順）

- ・株式会社 静岡銀行
- ・損害保険ジャパン 株式会社（運営委員長機関、保険業務WG座長機関）
- ・第一生命保険 株式会社
- ・株式会社 千葉銀行
- ・株式会社 日本政策投資銀行（預金・貸出・リースWG座長機関）
- ・株式会社 八十二銀行（預金・貸出・リースWG座長機関）
- ・浜松いわた信用金庫
- ・株式会社 三井住友銀行（運営委員長機関）
- ・三井住友トラスト・ホールディングス 株式会社（持続可能な地域支援WG座長機関）
- ・リコーリース 株式会社（総会共同議長機関）
- ・りそなアセットマネジメント 株式会社（運用・証券・投資銀行業務WG座長機関）

総会共同議長機関

- ・東京海上アセットマネジメント 株式会社

WG座長機関

- ・SOMPOアセットマネジメント 株式会社（運用・証券・投資銀行業務WG座長機関）
- ・株式会社 ヴォンエルフ（環境不動産WG座長機関）
- ・CSRデザイン環境投資顧問 株式会社（環境不動産WG座長機関）

監事機関（監査報告のため）

- ・株式会社 滋賀銀行
- ・京都信用金庫

パートナー

- ・環境省 大臣官房 環境経済課
- 事務局
- ・一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

<結果>

【承認事項 ※議事番号(1)(4)(5)(6)】

1)共同運営委員長の選任(議事番号(1)、資料1)

承認:運営委員11機関/運営委員以外の参加者4機関

非承認:運営委員0機関/運営委員以外の参加者0機関

意見:なし

全会一致による承認

2)WG座長の選任(議事番号(1)、資料1)

承認:運営委員11機関/運営委員以外の参加者4機関

非承認:運営委員0機関/運営委員以外の参加者0機関

意見:なし

全会一致による承認

3)収支報告案の承認(議事番号(4)、資料4-2)

承認:運営委員11機関/運営委員以外の参加者4機関

非承認:運営委員0機関/運営委員以外の参加者0機関

意見:なし

全会一致による承認

4)予算案の承認(議事番号(5)、資料5)

承認:運営委員11機関/運営委員以外の参加者4機関

非承認:運営委員0機関/運営委員以外の参加者0機関

意見:

1. 支出の部(2)その他経費に当初計上されていた「PRI in Person関連イベント開催関係 300,000円」に関し、PRI in Personの2021年度への延期にともない、該当金額を積立金として計上することの提案があった。「積立金 PRI in Person関連イベント開催関係費」として300,000円を計上する予算案の変更を会期中に行った。

2. 支出の部(3)事務局管理運営費に関し、以下の意見・提案があった。

ア. 事務局管理運営費を定額設定から、対象費用に対する料率(10%)での算出に変更する合理性の説明が必要ではないか。

イ. 会場費にかかる事務局管理運営費に上限を設定してはどうか(利用する会場の費用が高額になっても、それにより事務局の運営費が直結して上限なしに増える訳ではない)。

ウ. (当初事務局管理運営費の対象としていた)委託費は対象から外すべきではないか。

3. 提案を受けて、以下のとおり修正等を行った。

ア. 事務局より下記2点の説明

(1) 定額設定のままであると、署名金融機関数の増加に伴い執行予算が増える中で、事務局運営がスムーズに行えなくなる可能性があるため、事業規模に応じた管理費の設定を求める。

参考 : PFA21の署名機関数の推移

2016年3月末:200機関

2017年3月末:243機関

(2017年度が自走化開始年度、翌年度開始時点の機関数としてここから会費徴収)

2018年3月末:256機関

2019年3月末:269機関

2020年3月末:284機関

- (2) 10%という料率については、環境省が委託事業について一定割合で認めている経費である「一般管理費」を人件費と業務費の小計(再委託費は除く)15%以内としていることを参考としている(環境省における委託業務経費の算出等に関する基本方針(平成28年10月)¹)。

また、21世紀金融行動原則事務局を請け負う一般財団法人 地球・人間環境フォーラムは、21世紀金融行動原則以外にも任意団体等の事務局サポート業務をこれまでに担っているが、事務局管理運営費を20%~30%を設定しているケースが多い。21世紀金融行動原則については管理費以外に人件費を計上していることもあり、環境省が設定する一般管理費15%を参考に10%を提案。

イ. 会場費(1件当たり)にかかる事務局管理運営費に100,000円の上限を設定(都内で総会開催に適した広さの会場費の相場は100万円程度であることから算出)。

ウ. 委託費を事務局管理運営費算出の対象から外した。

全会一致による承認

5)運営規定の改正について(議事番号(6)、資料6)

承認:

軽微な変更としての承認:運営委員11機関/運営委員以外の参加者4機関

総会・臨時総会で諮る前提での承認:運営委員0機関/運営委員以外の参加者0機関

非承認:運営委員0機関/運営委員以外の参加者0機関

意見:なし

全会一致による承認

【報告事項 ※議事番号(2)(3)(7)(8)】 以下、意見/議論等があった報告事項のみ記載

1)今年度の各WGの活動方針について(議事番号(2)、資料2)

意見

- ・地域支援WGは、地域循環共生圏を中核テーマにしようと考えている。環境省と十分にすり合わせができておらず、具体的テーマはまだ絞っていないが、新型コロナウイルスの問題で浮き彫りになった地域課題をいくつか選定し、深掘りしていく方向。基本的にはオンラインで開催の予定。
- ・オンラインだと気軽に参加ができてよい。地域循環共生圏の現実味が増したような気がする。ローカル環境不動産とも繋がりがあがる。

2)今年度の活動計画について(議事番号(2)(3)、資料2、3)

意見

- ・SDGsに共通する環境や人権などに関する最新の情報を共有できるセミナーの開催も検討してほしい。地方ではそうした情報にアクセスできる機会が少ないため。

¹ <https://www.env.go.jp/kanbo/chotatsu/itakukihonhousin.pdf>

- ・オンライン開催は是非とも実現してほしい。WITHコロナにおいては、スタンダードとしてよいのではない。また、活動内容に応じて、署名金融機関以外の地域金融機関に開放し、取り組みの輪を広げることも一案かと思う。
- ・このような状況だが、過不足ない活動に向け取り組みたい。

3)タスクフォース(TF)設置について(議事番号(8)、資料8-3)

意見

- ・PRI in Personの2021年度への延期にともない、PRI in Person関連イベントTFと、10周年記念企画TFを統合してはどうか。
- ⇒2020年6月にメンバーの募集開始を予定。(事務局)

4)署名金融機関のニーズ調査について(議事番号(8)、資料8-2)

- ・ニーズ調査は2020年6月開始を予定。(事務局)

<共同運営委員長によるコメント>

- ・新型コロナ感染拡大防止のため、今回は書面による委員会実施となったが、活発なご意見・ご提案を頂戴し、皆様に謝意を示したい。
今後継続して議論すべき議案も残ったが、次回以降に皆さんと確り議論をして決定していきたい。
- ・コロナ禍の影響により、メール開催となったものの、運営にご協力いただき、大変ありがたい。
今後、グローバル・ローカルで様々な課題が顕在化していくと思うが、課題を捉えた議論が継続的に行えればと考えている。こういう時だからこそ、PFAの存在感を発揮できるよう、ぜひ従来以上の協力をお願いしたい。

なお、本運営委員会で承認された2019年度収支報告書案および2020年度予算案については、2020年6月開催予定の2020年度第1回臨時総会(メールベース)にて、全署名金融機関に対して決議を諮る。

以上